

みずほCustomer Desk Report 2021/09/28 号 (As of 2021/09/27)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.75
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	110.77	1.1722	129.86	1.3670	0.7266
SYD-NY High	111.07	1.1730	129.92	1.3728	0.7293
SYD-NY Low	110.53	1.1685	129.49	1.3661	0.7250
NY 5:00 PM	111.01	1.1695	129.88	1.3706	0.7287
NY DOW	34,869.37	71.37	日本2年債	-0.1300	0.00bp
NASDAQ	14,969.97	▲ 77.73	日本10年債	0.0500	0.00bp
S&P	4,443.11	▲ 12.37	米国2年債	0.2789	0.84bp
日経平均	30,240.06	▲ 8.75	米国5年債	0.9871	3.94bp
TOPIX	2,087.74	▲ 3.01	米国10年債	1.4898	3.80bp
シカゴ日経先物	30,105.00	20.00	独10年債	-0.2275	0.15bp
ロンドンFT	7,063.40	11.92	英10年債	0.9525	3.90bp
DAX	15,573.88	42.13	豪10年債	1.4030	▲1.00bp
ハンセン指数	24,208.78	16.62	USDJPY 1M Vol	5.57	0.33%
上海総合	3,582.83	▲ 30.24	USDJPY 3M Vol	5.70	0.01%
NY金	1,752.00	0.30	USDJPY 6M Vol	5.93	0.08%
WTI	75.45	1.47	USDJPY 1M 25RR	-0.10	Yen Call Over
CRB指数	228.242	2.93	EURJPY 3M Vol	5.93	▲0.05%
ドルインデックス	93.38	0.06	EURJPY 6M Vol	6.13	▲0.08%

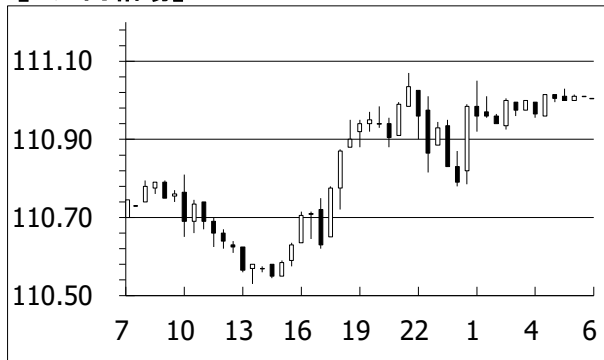
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月27日	21:30	米 耐久財受注(前月比)/同(除く輸送用機器・前月比)・速報	8月 1.8%/0.2%	0.7%/0.5%
	22:00	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	「テーパリングは間もなく正当化されうる」	

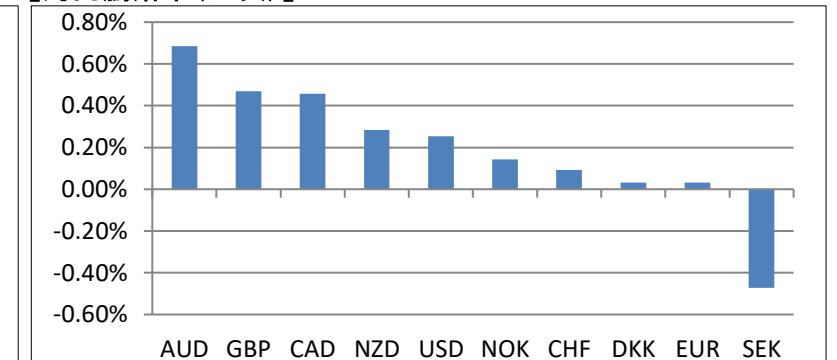
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月28日	10:30	豪 小売売上高(前月比)	8月 -2.5%	-2.7%
	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	8月 0.8%	0.6%
	22:00	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-
	23:00	米 パウエルFRB議長 講演	-	-
	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	9月 115	113.8
9月29日	02:40	米 ボウマンECB理事 講演	-	-
	04:00	米 ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.60-111.30	1.1650-1.1730	129.50-130.20

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は、上昇基調が継続。先週前半の中国恒大のデフォルト問題に対する過度な懸念は一旦和らぎ、FOMCでのタカ派なスタンスを経て米金利が上昇する展開に連れられる格好で、ドル円はじりじりと値を上げる展開。一時、節目となる111円を超える水準まで上昇した後、米金利が1.5%水準から反落するタイミングでは値を戻す局面も見られたが、総じて底堅い推移が継続し、結局111円台前半でクローズした。本日のドル円は、足許水準で底固めができるかが焦点。米金利の上昇基調に、ドル円は節目となる111円台を回復し、足許水準でもみ合い推移の様相を見せている。本邦実需勢のフローが上値を抑える展開も想定するも、一巡後は改めて底固めが出来るか注目したい。リスクオフ要因としては、中国恒大のデフォルト問題に対する中国政府の動向には引き続き注視したい。

東京	東京時間のドル円は110.77レベルでオープン。オープン直後に110.81まで上昇したものの、8月11日につけた同水準がレジスタンスとなり、その後は上値重い値動き。米10年債利回りが若干低下する中、110.53まで下落する場面も見られたが、その後は下落幅を縮小させ、結局110.71レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は110.71レベルでオープン。全般的なドル買いと米長期金利の上昇を受けて、7月以来の111円台を突破。111.03レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	FOMC以降ドル買いが続いていることから111円ちょうどの短期的なレジスタンスを抜け、NYオープン直前に111.07まで上昇したドル円は111.03レベルでNYオープン。朝方は米8月耐久財受注ヘッドラインが予想を上回り、前回分も上方修正されたものの、変動が激しいことからこの結果を受けたドル円の反応は限定的となる中、1.51%台まで上昇していた米長期金利が一旦反落する展開にドル円も110.78まで下落する。その後は長期金利が1.49%付近で推移する動きにドル円は111円ちょうど付近での推移が続き、夕方パウエルFRB議長の翌日の上院銀行委員会での証言を前に事前原稿が発表されたが、特段驚くような内容ではなかったことからドル円の反応は限定的となり、111.01レベルでクローズした。尚、パンデミック中の個別株の取り引きを巡って倫理問題が浮上していたローゼン格林・ボストン連銀総裁が、朝方今月30日に自身の健康の為に退任することを発表し、夕方にカプラン・ダラス連銀総裁が来月8日に辞任するが、2名とも今年の投票権はないため、為替市場の反応は限定的となった。一方、ユーロは海外市場でドル買いが強まったことから1.1685まで下落し、1.1692レベルでNYオープン。朝方は一旦米金利上昇が落ち着き1.1709まで戻すが米金利が高水準で推移する中1.17ちょうど付近での推移が続く。午後狭いレンジでの推移が続き1.1695レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 綿引・木村